TAOC

AVラック
ASシリーズ
取　扱　説　明　書

このたびは、TAOCのAVラックASシリーズをお買い上げいただき、ありがとうございました。ご使用の前にこの取扱説明書をお読みいただき記載事項にしたがって正しく組み立てを行って下さい。お読みになった後も大切に保存してください。

1．主な特長

（1） 高剛性を保ったままで、組み立て易さを実現
（2） 段数の追加（買い増し）が容易
（3） ラックの外部、内部の振動を効果的に吸収する鋳鉄スペーサーを採用
（4） 機器の取り扱いがしやすいオープンシェルフ構造を採用
機器の出し入れはもとより、機器の後ろに楽に手が入るのでピンコード類の結線などの作業が容易です。
（5） リヤ面に配線よけの凹スペースを確保
ラックが配線にじゃまされず、壁面にぴったりつけられます。
（6） 棚板支持はスパイク構造を採用
スパイクは高さの微調整が可能となっているので機器の水平出しができます。
（7） 棚板は５層構造を採用
棚板は、鋳鉄粉シートを高密度パーティクルボードでサンドウィッチし、表面を硬質メラミン板で仕上げていますので、高剛性・高比重で振動減衰性に優れています。
（8） 厚さ22㎜の棚板の採用により、重量機器の搭載が可能
（9） 棚板はリバーシブル仕様で色調の選択が可能
搭載機器の雰囲気に合わせて、ブラックかライトグレーかの色調が使い分けできます。（但し、スパイク支持構造ですので、機器を搭載してから上下を変えた場合にはスパイク跡が残ります。）

2．仕　様

（1） 共通仕様
・アルミダイカスト製フレーム、アルミ押出材支柱採用
・棚板寸法はW 500×D 450×H 22㎜
・棚板表面色はブラックとライトグレーのリバーシブル
（2） 組立寸法および重量

型式	寸法（幅×奥行き×高さ㎜）	重量（kg）	搭載機器耐荷重
AS－5	594×532×983	40	1段当たりの耐荷重 100kg 全段トータルの耐荷重 400kg
AS－4	594×532×771	32	
AS－3	594×532×559	24	
AS－2	594×532×397	17	
AS－1	594×532×　85	9	

3．使用上の注意

（1） 本機はAV機器収納用のラックです。他のものへの利用はさけてください。
（2） 本機は重量物ですので、取り扱いには十分注意してください。
（3） 本機は水平でしっかりとした床に設置するものとし、不安定な場所には設置しないでください。
（4） 本機を倒さないように注意してください。
（5） AV機器を載せたまま移動させることは危険ですのでしないでください。
（6） AV機器の収納は、下段から順に行ってください。重量のある機器を上段から収納すると、安定性が悪くなり傾く恐れがあります。
（7） 本機の汚れは、中性洗剤を柔かい布に含ませて軽く拭いてください。シンナー、ベンジンなどは使わないでください。
（8） 本機の分解、改造はしないでください。

⚠ 注 意

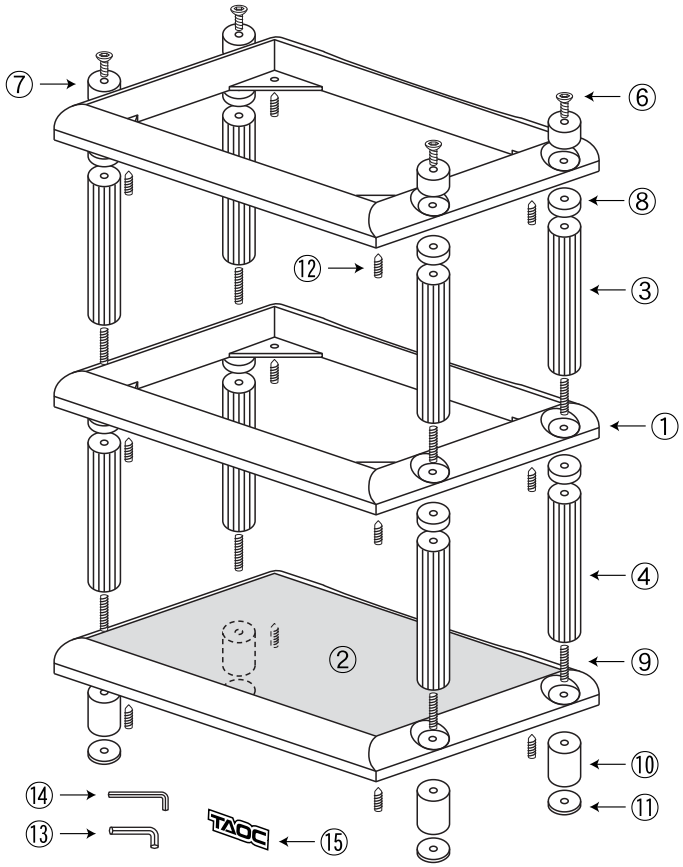
本製品は重量物ですので、組み立て時、運搬時に落としたり、倒したりすることのないよう十分注意してください。重大なケガをする恐れがあります。

4．各部の名称と数量（下図はAS-3の例です）

[1] 部品表

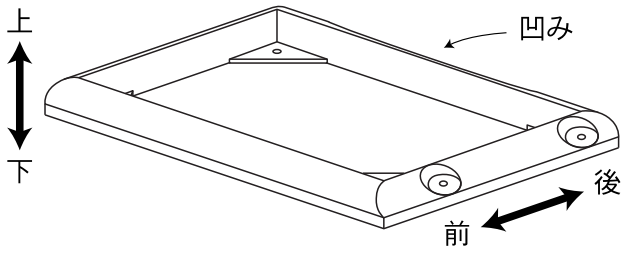
右図と下表により、各部品の数量をご確認ください。

No.	名　　称	AS-5	AS-4	AS-3	AS-2	AS-1
①	棚枠	5	4	3	2	1
②	棚板	5	4	3	2	1
③	支柱　L=192	12	8	4	0	0
④	支柱　L=242	4	4	4	0	0
⑤	支柱　L=292	0	0	0	4	0
⑥	天ネジ	4	4	4	4	4
⑦	天キャップ	4	4	4	4	4
⑧	スペーサー	16	12	8	4	0
⑨	組立ネジ	16	12	8	4	0
⑩	脚	4	4	4	4	4
⑪	フェルト	4	4	4	4	4
⑫	棚板支持スパイク	20	16	12	8	4
⑬	六角レンチ（太）	1	1	1	1	1
⑭	六角レンチ（細）	1	1	1	1	1
⑮	TAOCロゴバッジ	1	1	1	1	1



[2] 棚枠の上下、前後の見分けかた

（上段枠）



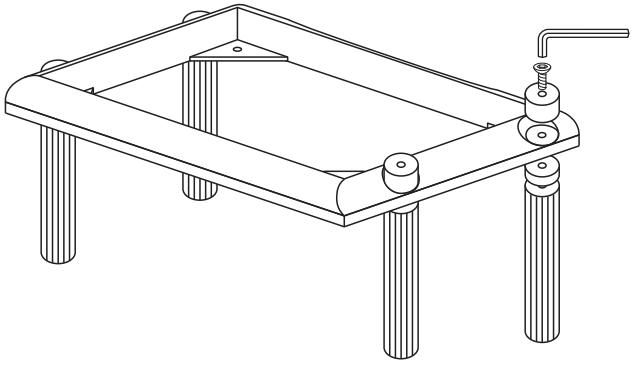
各枠とも後面は中央部が凹んでいます。組み付け時に間違わないようご注意ください。

5．組み立て方法

⚠注 意

●２人での作業をおすすめします。
●本ラックの組み立ては、平坦な床面上で行い、組み立て作業を行う際には、身体上への落下、倒れには十分注意してください。
●また、床等へのキズ防止として、床面には毛布等の大判の柔らかい布を敷いて、その上で組み立てることをおすすめします。

［1］棚枠と支柱の組み付け

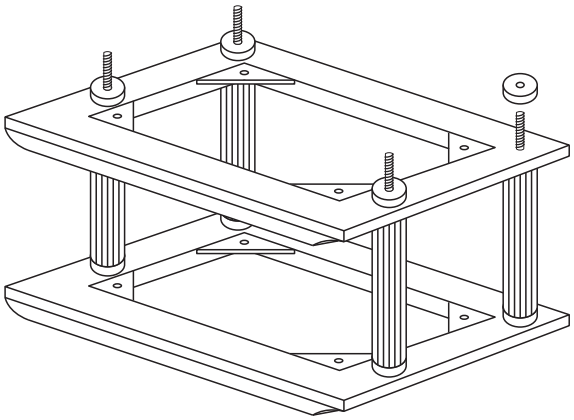


①天キャップと天ネジを棚枠にはめ込みスペーサーをかまし、支柱（L=192）を下部よりねじ込みます。
（付属の六角レンチを用いてしっかりと全数固定してください。）

②棚枠が下になるようにひっくり返します。
（この時、棚枠にキズがつかないように注意してください。）

③支柱に棚枠をはめ込みます。
（この時、棚枠の前後、上下を間違えないように注意してください。）

④枠を通し支柱に組立ネジをねじ込みます。
（指で止まるまでねじ込んでください。強くしめすぎないように注意してください。）



⑤組立ネジにスペーサーを通します。

⑥支柱をしっかりとねじ込みます。
（段数に合わせて③～⑥を繰り返し行なってください。）
（L=242の支柱は最下段になるようにしてください。）

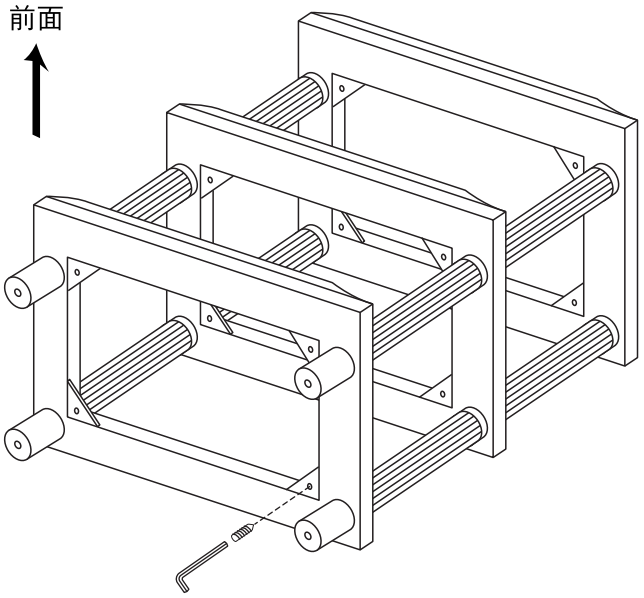
⑦棚枠を③同様にセットした後、枠を通し支柱に組立ネジをねじ込みます。

⑧脚をしっかりとねじ込みます。

⑨付属のフェルトを脚の裏に貼り付けてください。
（オプションのキャスター、スパイクを使用される場合は貼り付けないでください。）

⑩製品本体を立てて設置します。
注 本体を立てる時は、本体を引きずらないように注意してください。
床等にキズを付ける可能性があります。

[2] 棚板支持スパイクの組み付け



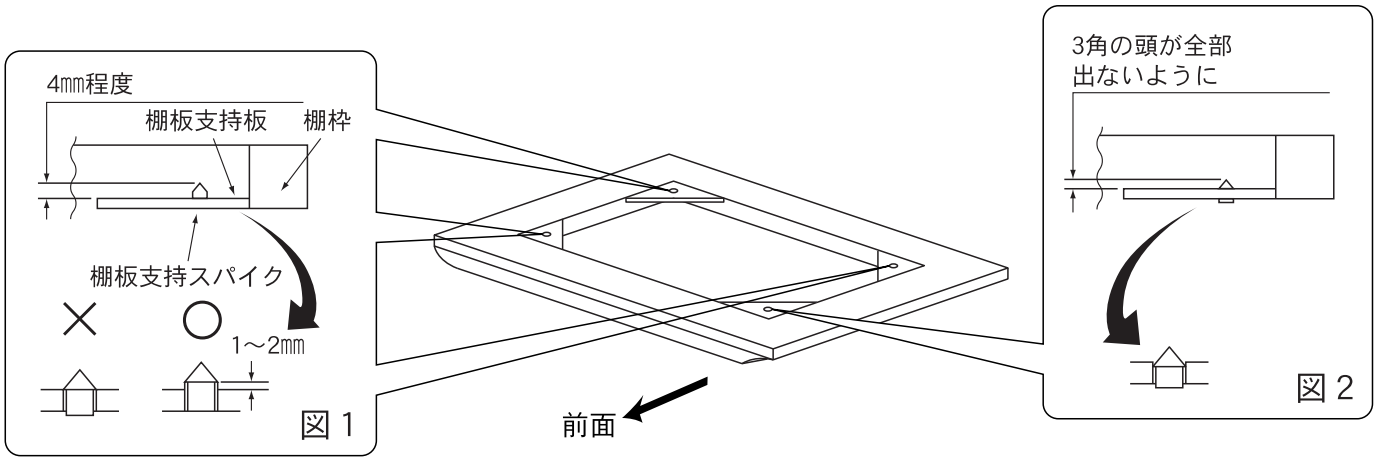
①本体を左図のように寝かせます。

②棚板支持板全箇所に棚板支持スパイクを組み付けます。

お願い 塗装の関係上スパイクが手で回しにくい（きつい）場合があります。その時には付属の六角レンチ（細）を使ってください。

③前面の１ケ所および後面の２ケ所は図１のようにスパイクを基準の高さに設定します。各段について同様にします。

④前面の１ケ所のスパイクは図２のように他の部位よりも１ミリ程度短くしておきます。



[3] 棚板支持スパイクの調整

※オプション（キャスター又はスパイク＆プレート）を組み付ける場合は、**６．純正オプション** を先に行ってください。

①本体を設置場所へ立てて設置します。

②棚板を各段の枠の中にはめ込むように載せます。

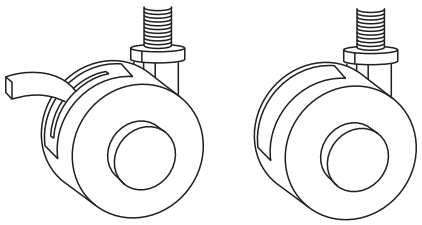
③［２］④で短くしたスパイクに六角レンチ（細）を差し込み棚板のガタがなくなるまで回します。

6．純正オプション

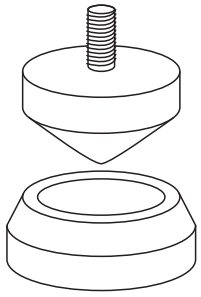
キャスター
CS-120（¥7,000／4ヶセット）

スパイク&プレート
SP-500（¥12,000／4ヶセット）

※キャスター又は、スパイク＆プレートをご使用になる際は、この純正オプション以外はお使いにならないでください。
※キャスターとスパイク＆プレートを同時には装着できません。いずれか片方をご使用ください。



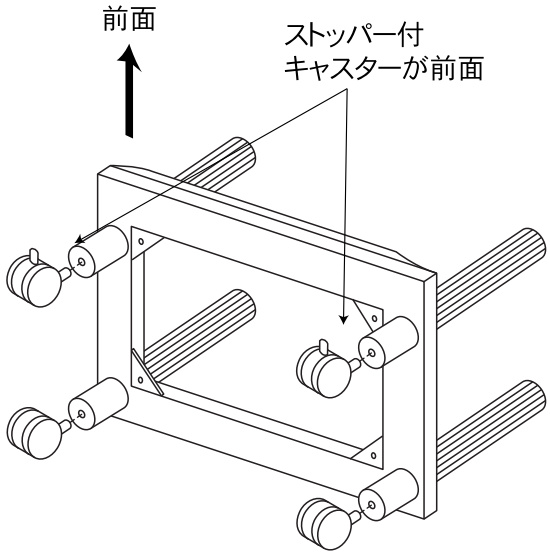
ストッパー付・ストッパーなし
各２個１セット



各４個セット

[1] キャスターの組み付け

オプションのキャスター（CS-120）を組み付ける場合は以下の要領で組み立てを行ってください。尚、その際には、フェルトは使用しません。



①棚板支持スパイクの組み付けが終わったら、本体は寝かせたままにしておきます。

②脚部のネジ穴にキャスターのネジをお持ちのスパナ等で十分に締め込んでください
注 ストッパー付きの２ヶがラックの前面になるように組み付けてください。

③ストッパー付きキャスターのストッパーがかかっている（車輪が回らない）状態にします。

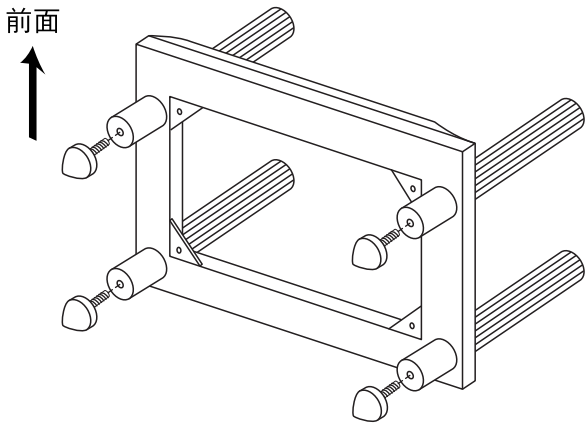
④本体を設置場所へ立てて設置します。

⚠注 意

立てる時にキャスターが回転しますと、その方向へ本体が動いてしまって危険です。そうならないように十分注意してください。２人での作業をおすすめします。

[2] スパイクの組み付け

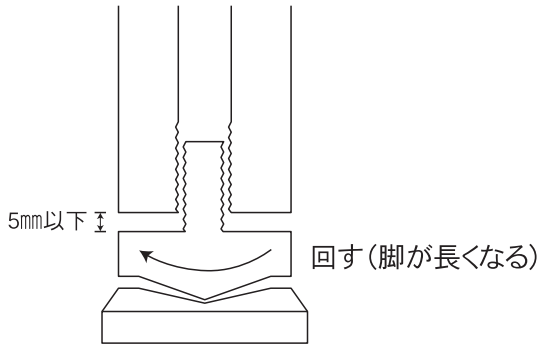
オプションのスパイク＆プレート（SP-500）を組み付ける場合は以下の要領で組み立てを行ってください。
尚、その際には、フェルトは使用しません。



①棚板支持スパイクの組み付けが終わったら、本体は寝かせたままにしておきます。

②脚部のネジ穴にスパイクをねじ込みます。その際にはフェルトは使用しません。
（指で止まるまでねじ込んでください。）
（強くしめすぎないように注意してください。）

[3] スパイクの調節について



①スパイクの組み付けが終わったら本体を設置場所へ立てて設置します。その際は付属のプレートをお使いください。（立ててからプレートを敷き込みます。）

注 本体を立てる時は、スパイクで床を引きずらないように注意してください。

お願い 設置場所では一旦は床へ直接スパイクを当てることになりますので床にスパイク跡がつくことをご了承下さい。２人での作業をおすすめします。

②床が平らでなくてがたつく場合はスパイクを手で回しがたつきがなくなるように調節します。

注 スパイクはネジ部が５㎜以上出ないようにしてください。

本仕様および外観は改良のため予告なく変更することがあります。

後日のために記入しておいてください。

購入店名＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿　電話：（　　－　　－　　）

ご購入年月日：　　年　　月　　日

製造元 アイシン高丘株式会社
〒473-8501 愛知県豊田市高丘新町天王1番地
TEL.0565-54-1382　FAX.0565-54-1588

発売元 ハヤミ工産株式会社
■東京 TEL.03-3664-2484　■大阪 TEL.06-6535-3450
■仙台 TEL.022-262-8939　■名古屋 TEL.052-339-2291
■滋賀 TEL.0749-82-4334　■福岡 TEL.092-281-7838

09.03